

## 第2回防災未来づくり会議

### 開催概要

- 日時: 令和7年9月29日(月) 18:00~20:00
- 会場: 穴水町役場3階大ホール
- 全体テーマ: 穴水町のこれからの防災を考える
- 内容: 役場職員14名と町民36名が5つのグループに分かれて、第1回防災未来づくり会議で挙げられた課題に対する今後の対策方針案を自助・共助・公助としてワークショップ形式で話あってもらいました。活発な意見交換が行われ、防災意識の高まりが感じられました。



# A班：個別テーマ「地震発生時の避難」



### 【災害情報】

- ・携帯電話が不通で災害情報を得られず困った。  
⇒ポータブル充電器の準備(自助)、衛星ネットワークの整備(公助)

### 【事前対策】

- ・持ち出し品の事前準備の重要性、日頃の防災訓練・炊き出し訓練の重要性を感じた。
- ・自宅では3日目以降、食料がなくなった。  
⇒避難訓練への参加・マイタイムラインの作成・避難場所や方法の確保(自助)、飲料水や食料の2~3日分備蓄・要介護者の手助けする人を決めておく(共助)、防火水槽の配備・防災リュックの全町民配布(公助)

### 【寒さ対策】

- ・ストーブ、毛布といった冬期の寒さ対策が必要  
⇒石油ストーブや電気が使えないときのエネルギー確保手段の配備(自助)

### 【避難場所、避難方法】

- ・各家に声かけを行い確認を行った。
- ・避難行動要支援者の避難が遅れた。
- ・電気の復旧が遅かった。  
⇒ハザードマップの再確認や避難所でのリーダーシップ(自助)、発電機や燃料の確保・自主防災組織の設立と運営(共助)、車イスやリヤカーの配備(公助)

### 【道路寸断、渋滞】

- ・家屋倒壊や土砂崩れ、道路被災で避難所への道が塞がれていた。  
⇒危険箇所、道路、土砂ダム等の修復急務(公助)

A班 【テーマ】地震発生時の避難	
第1回で示された課題のキーワード	・災害情報 ・道路寸断、渋滞 ・寒さ対策 ・避難場所、避難方法 ・事前対策
対策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯がつかないことを想定した情報収集方法の整備。</li> <li>・避難行動要支援者も考慮した指定避難場所や避難経路、備蓄品の見直し。</li> <li>・確一人取り残さない防災実現に向けた避難支援体制の強化、季節や天候を踏まえた避難場所の備蓄の検討。</li> </ul>
(自助) 自分自身や家族・友人など周囲の人とできること	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポータブル充電器の準備</li> <li>マイタイムラインの作成</li> <li>避難場所の確保</li> <li>持ち出し品の準備</li> <li>防災リュックの準備</li> <li>自家発電機</li> <li>毛布の準備</li> <li>石油ストーブの準備</li> <li>避難所でのリーダーシップ</li> <li>ハザードマップの再確認</li> </ul>
(共助) 地域でできること	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所でのリーダーシップ</li> <li>自主防災組織の設立と運営</li> <li>車イスやリヤカーの配備</li> <li>発電機や燃料の確保</li> </ul>
(公助) 即ちやってほしいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛星ネットワークの整備</li> <li>危険箇所、道路、土砂ダム等の修復急務</li> <li>要介護者の手助けする人を決めておく</li> <li>防火水槽の配備</li> <li>防災リュックの全町民配布</li> </ul>

# B班：個別テーマ「地震発生時の避難」



## 【地域のつながり】

- ・各家に声かけや支援物資の配布をし、励ましあって乗り越えられた。
- ⇒住民名簿や世帯名簿の作成・避難要支援者や安否確認世帯の把握・日ごろから各組織とのつながりを大切にする(共助)

## 【情報】

- ・携帯電話が不通で災害情報を得られず困った。
- ・学校で作った手回し発電機付きのラジオが役立った。
- ⇒情報はとても大切・ラジオを準備する・役場で情報収集する(自助)

## 【寒さ対策】

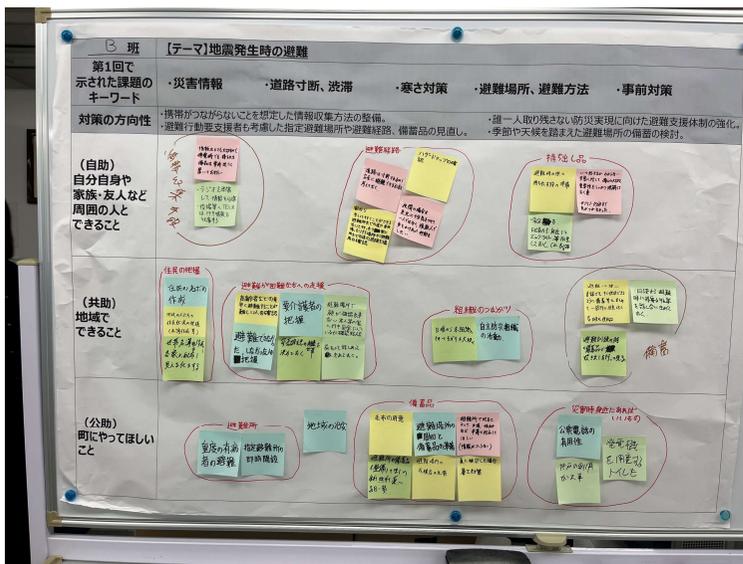
- ・石油ストーブや毛布で暖を取ってどうにか過ごせた。
- ⇒ガソリンや灯油の備蓄をする(自助)

## 【灯り】

- ・明るい時間帯で車避難ができたが、暗い時間帯なら避難は難しかった？
- ⇒安全な避難ルートの確認・夜間は複数人で声をかけ合って行動する(自助)

## 【事前対策】

- ・家具が倒れてすぐに自宅から出ることができなかった。
- ・普段からハザードマップの確認や避難訓練をしていたので、すぐに避難できた。
- ・割れた食器が床に散乱して困ったので、自室前に靴を置くようにした。
- ⇒持ち出し品の準備(自助)、避難訓練での炊き出し訓練(共助)、毛布や食料、水、燃料など備蓄品の整備・避難所での冷暖房設備の完備・発電機やトイレの整備・有病者の避難・指定避難所の即時開設(公助)



# C班：個別テーマ「避難所での生活」



## 【物資】

- ・避難所によって、炊き出しや物資配布方法など違いがあった。
- ⇒ローリングストックで家庭備蓄や防災グッズを備える(自助)、食物アレルギーの方の備蓄・ポータブルWifiの準備(共助)、段ボールベッドや水など避難所物資の整備(公助)

## 【避難所運営】

- ・間仕切りがないなか、知らない人が周りにたくさんいて怖い感じがした。
- ・役割づくりが難しかった。

## 【福祉・医療】

- ・感染症が発生し、隔離のゾーニングに苦労した。
- ・福祉避難所を開設できなかった。

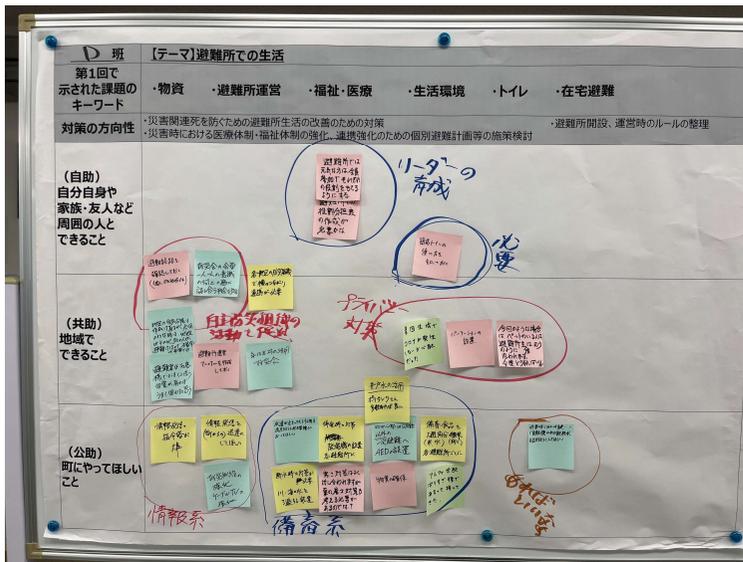
## 【安心・安全】

- ・防犯対策が必要と感じた。
- ⇒防災訓練への参加・おくすり手帳を持ち出し品として準備(自助)、毎日お互いの健康チェックを行う・女性用着替えスペースや医療スペースの確保・役割分担の事前決定・子供でも分かるような避難所ルールの作成・パーティションでのゾーニング(共助)、高齢者の避難誘導・防災無線の修理(公助)

## 【環境】

- ・水が出なく洗濯に困った。
- ・自衛隊のお風呂開設後、衛生面が改善されてよかった。
- ・エアベッドの使用で休むことができた。
- ・トイレの清潔を保つことが大変だった。
- ⇒簡易トイレの作り方や使い方を学ぶ(共助)、トイレの増設・物資場所の周知(公助)

# D班：個別テーマ「避難所での生活」



## 【物資】

- ・段ボールベッドはすべての避難所に配備してほしい。
  - ・物資の確保が大変だった。
  - ・一時心肺停止の状態が発生したので、AEDが必要と感じた。
- ⇒井戸水の活用(共助)、発電機や川水の浄水装置の設置、備蓄品は1週間分確保してほしい・夏の暑さや衛生対策・町中心部以外でのAED設置(公助)

## 【生活】

- ・ほかの避難者と生活リズムが合わず苦勞した。
  - ・感染症対策が大変だった。
  - ・情報の不足で状況が分からず不安だった。
  - ・ペットと一緒に避難所に入りたかった。
  - ・寒さ対策同様、夏場での避難所生活を想定した対策が必要。
  - ・役割分担ができた避難所とうまくできなかった避難所があった。
- ⇒全員参加で役割分担を行う・簡易トイレの使い方を学ぶ(自助)、避難所運営マニュアルの作成・パーティションの配備(共助)、防災無線やケーブルテレビの強化、情報発信の迅速化(公助)

## 【避難所】

- ・集会所の雨漏りに苦勞したので、修理を早くしてほしい。
  - ・自主防災組織が原動力になるので、もっと増やすべきと思った。
  - ・自主防災組織の活動補助金の周知をもっとしてほしい。
- ⇒避難経路の事前確認・防災士の意識向上のための場が必要・地区間の防災士のつながり連携が必要(自助)、非常時に自販機の中身を取り出せるとよい(公助)

# E班：個別テーマ「防災意識の向上」



## 【まさかびっくり】

- ・ここまで大きい地震は起きないと思っていた。
  - ・地震発生時は何が起きたか分からず動けなかった。
  - ・地震発生時の初動を日ごろから考える必要があると思った。
- ⇒家族や学校で共有し風化防止・安全な避難ルート of 事前確認(自助)

## 【備蓄】

- ・防災倉庫が空だった。
  - ・家庭内備蓄をしていなかった。
- ⇒年に一度は備品確認を行う・水とトイレの家庭備蓄の徹底化(自助)、燃料と食料、水、生理用品の備蓄完備・災害に耐えられる保管庫の設置・各地区での必要な物資を役場と共有・AEDの設置場所増加(公助)

## 【安否確認】

- ・外出時の連絡がつかず、安否確認の方法が必要と改めて感じられた。
- ⇒外出時の声掛けを徹底化・避難者リストの事前作成・井戸のある家の場所を共有・避難要支援者の事前把握と情報共有・普段からのつながりを大事にする(共助)、他地区での訓練方法を広める・SNS以外での情報発信の強化(公助)

## 【避難所、防災士】

- ・自助と共助の重要性を感じた。
  - ・防災士の知識をうまくいかせなかった。
- ⇒10代の防災リーダーを育成・若者への防災教育の充実化・自主防災組織が実働できるかを確認・自主防災組織での初期消火訓練実施(共助)、災害協定の増加・太陽光発電の電気使用を可能にする(公助)